



g.i.d.jpの四国支局設立フォーラムで性同一性障害の医療課題などを説明する中塚医師

孫とのきずな

「幸せな気持ち」

皇后さまは74歳

皇太后さまは20日、

七十四歳の誕生日を迎えられた。宮内記者会の質問に文書で回答し

「今年はお孫子の入学といつうれしい年になりました」と四人の孫たちの健やかな成長を喜んだ。

回答文書で、愛子さまと一緒の時、周囲に

いる人の言葉の表現や響きに「これは面白がっているな」と愛子さまを見つめると、笑いを含んだ目を向けてくる様子に「とても幸せな気持ちになります」とエピソードを紹介。「もしかしたら愛子と私は物事や事柄のおかしさの感じ方が割合と似ているのかもしれないと思うことがあります」と、孫とのきずなを深まっ

ていく喜びを記した。

関西支部、東海と北陸の各支局があり、四国での機関設立は初めて。

フォーラムでは、二〇〇一年から性別適合手術を実施している岡山山天大学院教授の中塚幹也医師がGID治療の現状などを話した。

同大の付属病院では毎年七十―百人が受診しており、患者へのアンケートでは、約九割が中学生までに本人の性への違和感を感じ始め、多くが過去に不登校や自殺を考えたというなど、重い悩みを抱えていたことが分かったと紹介。自覚の低年齢化を受け「当事者の心のケアや、望む性で生きられるように対応していくには学校現場の役割と理解が大きい」と指摘した。

同会の山本蘭代表(東京)はGID当事者の悩みとして「見たいの性別と保険証やパスポートなどの記載性別が異なることが大きい。病院にも頼らなくなりがちになる」など

と述べ、公文書などの性別の記載が必要なことで起こる心理的負担感を吐露。同会として不要な性別記載欄の削減や、戸籍変更要件の簡素化への働き掛けを国に続けていることなどを説明した。

同会四国支局は当事者や家族らを対象にメンバーを募集しており、情報交換の場を設けるなどしている予定。問い合わせはEメール info-shikoku@gid.jp

性同一性障害(GI

D)がある人の自助団体「性同一性障害をかかえる人々が、普通に

くらせる社会をめざす会(g.i.d.jp)」

同会は本部(東京)

開設され、十九日、西

条市神拝の市総合福祉

センターで記念のフォーラムがあった。

フォーラムがあった。

同会は本部(東京)

開設され、十九日、西

条市神拝の市総合福祉

センターで記念のフォーラムがあった。

フォーラムがあった。

性同一性障害理解を

自助団体 四国支局 開設記念フォーラム 西条

性同一性障害(GI D)がある人の自助団体「性同一性障害をかかえる人々が、普通にくらせる社会をめざす会(g.i.d.jp)」

同会の山本蘭代表(東京)はGID当事者の悩みとして「見たいの性別と保険証やパスポートなどの記載性別が異なることが大きい。病院にも頼らなくなりがちになる」など